

## 第6学年竹組 道徳の時間学習指導案

平成20年7月16日(水) 第3時

6年竹組教室 教諭 滝本 純代

1 主題名 命の大切さ (3-(2) 生命の尊重)

資料 五十五年前のたん生日 出典 日本文教出版「あすをみつめて」

2 本時の目標

①かわいい弟を亡くしてしまったわたしの気持ちを考えることにより、命の大切さに気づく。

②命の失われることの悲しさを理解し、自他の生命を大切にしようとする心情を高める。

3 準備 教師 ワークシート、『東京大空襲』(早乙女勝元・作)

4 展開

段階	児童の活動	教師の活動
導入	<p>1 家の人から聞いてきた戦争の話についての感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・焼夷弾でたくさんの家が燃えてたという話を聞いて、戦争はこわいなと思った。</li> <li>・戦争ですごくたくさんの人が死んだと聞いて、つらい思いをした人がたくさんいたんだなと思った。</li> </ul>	<p>○家の人や地域の人に戦争についての話を聞き、感想を書かせておく。</p> <p>○2、3名の児童の感想を紹介する。</p> <p>○『東京大空襲』(早乙女勝元・作)の写真を見せながら、東京大空襲について簡単に説明する。</p>
展開	<p>2 資料 P.46L.14 までについての朗読を聞き、登場人物の気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「人が殺される場面を見ると、戦争のことを思い出す。だから、いやなんだよ。」というおばあちゃんの言葉を聞いたぼくは、どんな気持ちでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・戦争とテレビは別だよ。</li> <li>・おばあちゃんは、戦争でつらい体験をしたんだろうな。</li> </ul> <p>3 資料 P.47L.1～P.49L.4 までについての朗読を聞き、登場人物の気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>弟が1日置いて息をひきとった時、わたしはどんな気持ちでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうして弟が死ななければならぬの。</li> <li>・私を一人にしないで。</li> <li>・戦争がなければこんなことにならなかったのに。</li> </ul> <p>4 資料 P.49L.6～P.49L.14 までについての朗読を聞き、登場人物の気持ちについて話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「命は1回きり」という言葉を聞いて、ぼくはどんなことを思ったでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回きりの命だから、毎日を大切に生きていきたい。</li> <li>・ぼくが生まれたのは、おばあちゃんやたくさんの人の命があったからなんだ。</li> </ul>	<p>○資料 P.46L.14 を朗読する。</p> <p>○自分の考えを明確にするため、ワークシートに考えを記入させる。</p> <p>○資料 P.47L.1～P.49L.4 を朗読する。</p> <p>○防空壕、焼夷弾など説明をしながら読む。</p> <p>○「そのしゅん間」からの様子を補助発問しながら、丁寧に確認するようにおさえ、緊迫した状況が感じられるようにする。</p> <p>○戦争により家族の命が奪われていることの悲しさに目が向くようにする。</p> <p>○資料 P.49L.6～P.49L.14 をゆっくりと気持ちをこめて朗読する。</p> <p>○自分の考えを明確にするため、ワークシートに考えを記入させる。</p>
整理	<p>5 「命は1回きりなんだ」と実感した経験について考えて発表する。</p>	